

『チクロ育ち』

舞台…20分後の未来から4年が経過した。原子力発電所を中心とした半径10 km圏内

人物… 水俣はな子

水俣紫（ゆかり）

田子浦小夜

四日市愛子

川崎英次

佐藤公一

夜明け前の薄暗闇を走ってくる佐藤公一

決して健康のためのジョギングをしているわけではない

疲れ果ててくずれるように座り込む。

忽然と姿を現した川崎。

川崎 どこへ行くんですか

佐藤 （驚いて）えっ？

川崎 どちらまでいかれるんですか？

佐藤 あの…ちよつとそこまで…

川崎 この先は、立入禁止ですよ。

佐藤 えっ…ええ

川崎 ご存じだったんですか？

佐藤 いえ

川崎 よかった

佐藤 えっ？

川崎 知らずに入ったら、大変ですよ

佐藤 ええ

川崎 死にますからねエ

佐藤 死ぬ？

川崎 いやあ、はっはっは…

佐藤 はっは…

川崎 人助けしちやったなア

佐藤 あの…

川崎 えっ？

佐藤 立入禁止って？

川崎 ああ、立て札出てますよ、そこから入っちゃいけないですよ

佐藤 何で

川崎 死ぬんです。

佐藤 国境ですか？

川崎 面白い人だなア。(笑う)

佐藤 (きまり悪いのでいっしょに笑う)

川崎 (笑っている)

佐藤 (困っている)

川崎 (笑いやめて) 国境じゃありませんよ

佐藤 そうですよ。そんなはずないですね……

川崎 そうですよ(また、笑う)

佐藤 なんて 死ぬんですか？

川崎 放射能でしょ やっぱり。

佐藤 放射能……ですか……

川崎 放射能は、死にますよ。ガンになりますから。

佐藤 ？

川崎 あなた『かちかち山のプルトーン』、見てないんですか？

佐藤 ええ

川崎 やだなア、説明すると長くなるんですよ。第一、今は役が違いますから。

佐藤 そりゃ、ガンになれば死にますよね、大体

川崎 ガンは切っちゃえがいいですけどね

佐藤 それで

川崎 切れるとこと切れないところがあるでしょう。

ガンといっしょに 脳切っちゃったら 死にますね

佐藤 つまり、ガンで死ぬんですね

川崎 だから、放射能で死ぬんですよ。原発ですよ

佐藤 原発？戦争ですか？

川崎 原発、原子力発電所。どっかで聞いたようなセリフ言わせないで下さい。ぼく混乱

しますから

佐藤 つまり、こういうことですね。この先に原子力発電所があつて、立ち入り禁止だ。

そして原子力発電所は、放射能を出すので、ガンになる。ガンになれば死ぬだろう

……わかりました。どうも。

川崎 で、

佐藤 回り道しますよ。ぐるっと回ってきやいいんですよ

川崎 戻った方が良いでしょう

佐藤 いいですよ、好きにしますよ

川崎 でも、半径10 kmですから、回つてると先に進めませんよ。

佐藤 10 km？何ですそれ

川崎 半径10 kmだから直径は20 kmですね。つまり円周は…… 2π 乗、じゃないか……

佐藤 そんなに…

川崎 戻った方が…

佐藤 戻れないんですよ

川崎 何も、刑務所へ戻って言うてるわけじゃないですよ

佐藤 何！

川崎 脱走してきたんですよ。見りゃわかりますよ。

手錠してるし、服だって…。第一こんな時間に

佐藤 わかるよなアやっぱり。

川崎 どのくらいいたんですか？刑務所に…

佐藤 さあ…

川崎 長いんですか

佐藤 夜が明けるたびに壁に「正しい」って字を書いて日にちを数えていたのは、最初だ
けだったから。「正しい」「正しい」って。ある日看守に云われたんだ、書き順がち
がうぞって

川崎 成程

佐藤 独房に入れられてたんだ。

川崎 手錠つきで？

佐藤 そう。

川崎 相当、凶悪犯だったんですね

佐藤 そう見えますか？

川崎 いやア、とてもとても…お若いのに…

佐藤 凶悪、じゃないですよ。殺ったのは1人だけだし

川崎 中国人だし、

川崎 中国人ですか

佐藤 ええ

川崎 じゃあ、ねエ。8億人もいるんだから

佐藤 そうでしょう

川崎 ええ

佐藤 危険なんですって

川崎 あなたが？

佐藤 そう。思想がね…

川崎 ああ、赤軍派ですか？そんなトシには見えないけど

佐藤 いや、思想がね、ないんですよ。その無思想さが危険なんですって

川崎 成程、何をやらかすかわからない！

佐藤 そんなところでしょうか。ところで、あなたこそこんな時間に何なんです。何やっ
てるんです？

川崎 僕は、富山の薬売りです

佐藤 富山？！母の実家が富山なんですよ。どこいらですか

川崎 はあ

佐藤 母は高岡なんですけど…

川崎 あっ…はっはっは(笑う)

佐藤 はっはっは(つきあう)

川崎 富山ですか？富山なんて知りませんよ。行ったこともない。

今どき富山から薬かついでくるやついると思ってるんですか？

佐藤 はあ？今、言ったでしょ「富山の薬売り」だって

川崎 仕事ですよ、仕事。仕事が「富山の薬売り」富山は関係ないんですって

佐藤 …

川崎 … 相当、長いんですか？刑務所？

佐藤 … そうみたいですわね…よくわかんないけど。

あなたと話しているとムナしいほどのギャップを感じます。

川崎 やっぱ刑務所のせいかなア

佐藤 感じますか？

川崎 は…？

川崎 ギャップ

佐藤 ええ。

川崎 そうか (気落ちしている)

佐藤 あ、いや…何、落ちこんでるんです

川崎 あ、あははは、僕、エイズなんです

佐藤 え…そりゃ、何ていうか…長いんですか

川崎 そりゃ、もう生まれた時からですから…もう、長くないでしょうね

はっはっはっは

佐藤 はっはっは…生まれた時から…よかった…はっは…

川崎 何がいいんですか

佐藤 いや、独房ね…アレ、何ていうか、お前は男好きのするヤツだから

危険だって、それもあつて独房…

俺、その気は全然ないんですけどね

(急におネエ言葉) あら、残念。

佐藤 ぎよっ！！

川崎 あ、気にしないでください。

佐藤 …生まれつき…なんでしょ？！

川崎 今のは、僕じゃない。エイズの奴です

佐藤 はア…

川崎 僕がもう長くないもんだから、エイズの奴、外へ出たがっているんだ

佐藤 エクソシストみたいですわね

川崎 は、はっはっは…

佐藤 はっはっは。

川崎 古い映画……。あ、気をつけて、僕じゃないけど、僕ですから。あんまり気を許さないように

佐藤 どういうことですか？

川崎 エイズの僕が僕なのか、エイズでない僕が僕なのかということですよ。

アイデンティティの問題ですね。本来、病気というのは外から入ってきてやがてでゆくものだから、つまり戦って排除すると、治るということが病気でなかった自分に戻る、アイデンティティをとりもどすということになります。しかし、エイズは遺伝子にしろいんじゃないかってますからね。まして、アレです。免疫系にいるんですよ。免疫ついていたらあれでしょ。自分と自分にいらぬものと区別するところですからアイデンティティの源（モト）ですよ。エイズの僕と、エイズ抜き僕なんて、この頭で考えることだから。ただの幻想にすぎない。僕はエイズなんです。ふうん。

佐藤 川崎 例えば、社会にとって、僕の存在そのものが悪だ。エイズなんだから。しかし、だからこそ、ぼくは人の役に立つ人間になりたいと思ってる。僕が富山の薬売りであるというのはそこです。フランダースの犬のように常に病気で苦しんでいる人を救いたいという僕の気持ち

佐藤 リポDあります？

川崎 えっ、ありますよ。

佐藤 1本もらえませんか？何か疲れちゃって…

川崎 ダメです。

佐藤 え？

川崎 エイズ、うつりますから

佐藤 何も、口うつしで飲ませろって言うてるわけじゃないですよ

川崎 でも、万が一うつったら…

佐藤 大丈夫でしょ…

川崎 本とに？うつったら死ぬんですよ

佐藤 ……

川崎 はっはっはっは…僕は人を助けることなんてできないんですよ。はっはっは…

佐藤 薬屋なのに薬、売らないんですか

川崎 売りますよ。死ぬってわかっている人たちに

佐藤 僕、死刑囚ですけど

川崎 だから逃げてきたんですよ、生きるために

佐藤 ええ

川崎 じゃあ、ダメだ。僕の薬は差し上げられない。しかし、笑っちゃうでしょ、明日死ぬって奴に僕はリポDを売る。つまり、元気に死ねるってことかなア

佐藤 売りに行くところだったんですか？どこへ？

川崎 あっち、

佐藤 あっち？あっちは立入禁止だったって

川崎 ああ、でも入れるんですよ。

佐藤 原子力発電所ですか？

川崎 事故でメチャメチャになったね。立入禁止っていうのは汚染されていて危険だから、死にたくない奴は入るなってことですよ。面白いもんでね。線をひいてこっからが危険だっていうとその外は安全だって思えてくるんでしょう。放射能は、雨や風に流されて、どこへだって飛んでゆくのにね。

佐藤 じゃあ、入れるんですね。警察とか、見張りとか立ってないんですか
川崎 必要ないでしょ

佐藤 やった、これで少し生きるメドがついた。ここつききって逃げますよ。

川崎 危険ですよ

佐藤 危険は承知です。脱走してるんですから。明るくなってきたし、急がないと。

川崎 あの、ひとつ聞いていいですか？

佐藤 は？

川崎 女、知ってますか？

佐藤 女？どんな？

川崎 だから、そういうんじゃないかって。セックスですよ。

佐藤 はあ？

川崎 どんな感触なんでしょうか、やっぱり柔らかいんでしょう。

佐藤 知りません、僕は独房にいたんですよ。

川崎 その前は

佐藤 その前は犯罪してましたよ。じゃあ（と、去る）

川崎 教えて下さい。僕は：触ったことさえないんですよ。

SE『パラダイス銀河』

場面は変わって「立入禁止汚染区域」の中。

ゆかりが躍るように舞台を横切って去る。

水俣がそれを追って、**田子浦はそのあとから四日市（死体）をひきづってやってくる。**

水俣 ゆかりイー。：しよがないわね、全く。何考えてるんだかわかんないところは
まるつきり幼児ね

田子浦 だって 幼児でしょ、3才なんだから

水俣 生んで3年っていう意味じゃ、3才よ。けどどこが3才なの、信じられないわよ、
むしろ私の方が20年、年とったんだって言われた方が信じられるわよ。あーシン
ド。

田子浦 ：（モクモクと穴を掘り始める）

ゆかりが戻ってくる

水俣 ゆかり。手伝いなさい！

ゆかり いや！

水俣 いやってことないでしょ。お母さんの言うことが聞けないの？

ゆかり お母さん。3才児が墓掘り人夫がマネごととして、明るい将来のあると思うの？

水俣 何ですって？

ゆかり 死体なのよ！ショックがトラウマして、一生暗い子となるのよ！

水俣 トラウマ？

ゆかり 心が傷です。

水俣 心なんて、誰だって傷だらけです。それよりも、お母さんの言うことが聞けない悪い子の方が問題です。

ゆかり いや！ゆかりは 精神が健全な発育が望むのよ。

水俣 わかったわ、ゆかり。あいかわらず「てにをは」がおかしいけれど、あなたの言うことはよくわかりました。メンタルな部分はおいておいて、手だけ貸してちょうだい。

ゆかり わかってない！そういうことによけいが精神が歪ませるのよ！

ゆかり、去る

田子浦 反抗期？

水俣 毎年反抗期よ。今は第3反抗期：外へ出たいって言うのよ。

田子浦 ふうん：

二人の女が墓を掘っている

水俣 生まない方がよかったかな。

田子浦 「子供は生む、生まないではありません。生まれるか、生まれないか それは、私たちの意志ではなく、子供の意志なのです。」

水俣 何、それ。

田子浦 覚えてないの？あのととき、あなたが言った言葉よ。

水俣 そう：そんなこと言ったの：私。やっぱ、20年も前のような気がする

二人、また掘り出す

田子浦 (ポツンと) 手がかからなくて、嬉しいって言ってたじゃない。

水俣 原子力のおかげ：

田子浦 放射能。あ、まだだ。何、これ？ジャガ芋？

水俣 どれ？(とのぞきに来る)(土をかきわけて、それ^巨大化したジャガ芋Vを確かめ

ると感動して）原子力エネルギーって素晴らしいわね。
放射能。

田子浦

水俣 一週間でこんなに成長するなんて、原子力！

田子浦 だから、放射能だってば、突然変移

水俣 大地の恵み。無農薬有機農法万才！肥（コエ）は、本物に限るって。さあ、早く、

四日市さんを土に返してあげましょ。

田子浦 何、言ってるのよ。どうやって掘るのよ。こんなドラム缶みたいなジャガ芋がゴロ

ゴロしちゃってるのよ。100kgはありそうよ。クレーン車かユンボでももって
こなけりゃ…

水俣 そうね、どうやってゆでましょ。ホクホクのところにバターをのつけて、トロリ

ととけたバターといっしょにいただいたら…おいしいでしょうね。

田子浦 鍋も埋めたら？大きくなるかもよ。

水俣 あら、鍋はムリよ。

田子浦 とにかく、あっち掘ってみましょ

二人で四日市の死体をひっぱってゆく

田子浦 重いわねえ

水俣 ええ

田子浦 棺オケもなしか…

水俣 ねえ、指輪はずしまちようか

田子浦 え？

水俣 プラチナにダイヤよ。重いわよ。

田子浦 よしてよ。化けてでるわよ

水俣 三人でやっそこ 運んだのよねエ

田子浦 ええ

水俣 次はどうしましょ

田子浦 川崎さんに手伝ってもらわよ。

水俣 そうね。でも、川崎さん、エイズだし…バラして運ぶのはやめてね。

田子浦 何よ。あたしかもしれないじゃない。

水俣 やっぱり、バラバラにしちゃうと、天国でも、バラバラのままかしら。ほら、首だ
けの幽霊とか

田子浦 やめてよ、気持ち悪い。

二人、また穴を掘り始める

水俣 もっと深い方がいいんじゃない

田子浦 だって疲れちゃったわ

水俣 でも、原子力で大きくなったら、でてきちゃうわよ
田子浦 放射能だってば、ならないって。

水俣 でも、

田子浦 じゃが芋じゃないのよ。死体なんだから 鍋と同じ。

水俣 鍋か…

田子浦 棺オケもなしか。ねえ、覚えてる。B棟の松村さんだったっけ。

越してきてすぐに奥様が亡くなったじゃない

水俣 あ、覚えてる、覚えてる

素敵なクローゼット運んでる、なんて皆して見に行ったのよね

田子浦 そしたら、棺オケだったのよね。まっ白な、夏目雅子みたいなやつ

水俣 誰が言いだしっぺ？

田子浦 さあ。でも誰だって間違えるわよ。入口狭いからって、たてにして運び込んでるんですもの。

水俣 安中さんでしょ、いちばん大っきな声で、下から奥さん奥さんって呼んだの

田子浦 何なんです、家内は死にましたよ！

水俣 おっどろいたわよねエ。

田子浦 でも松村さんも、自治会通さないんですもの。

水俣 お寺に運んでお葬式するって……でも、あれ下におろすときもタテてたわよね。

大丈夫だったのかしら

田子浦 しょうがないわよ。団地なんてお葬式のことまで考えて設計してないもの。

埋葬が終わった

水俣 ねえ、知ってる？そのあとの話…四日市さんたら松村さんちへ電話して
きいたんだって。あの棺オケはどこに注文したんですかって

田子浦 えっ、ウソ！

水俣 本とよ、あれ、クレージュだったんだって

田子浦 えっ、クレージュって棺オケまで作ってるの？

水俣 裏側に小さいマークが入ってたんだって。四日市さん、見たんだって。で、クレージュだったら、ぜひ自分はピンクのがほしいって思って、そう思ったら、いてもたってもいられなくなって、初七日もあげぬうちに…

田子浦 うそでしょ

水俣 うそよ。

田子浦 …

水俣 棺オケなんか、何だっさいいじゃない。どうせ燃やしちゃうんだから。

田子浦 でも、もし、本とくにクレージュだったら…彼女、欲しがったと思うわ。彼女オシャレだったから

水俣 少女趣味よ

田子浦 ロマンチスト…とか、言い方があるでしょ。死んだ人の悪口言うなんて、フェアじゃないわよ。向こうは言い返すことができないんだから

水俣 悪口なんか、言っていないわ。でも、悪口だろうがなんだろうが、これが最後よ。次は、話す相手がないのよ。

田子浦 やめてよ。(半泣きで)

水俣 やめるわよ。(同じく、ぶっと手鼻を切る)

田子浦 わっ！ちよつとオ 汚いなあ。

水俣 鼻かんだのよ。

田子浦 テツシユ 使つてよ テツシユ！

水俣 野良じゃ 手鼻が常識よ

田子浦 てばな？

水俣 これよ(とやってみせようとする)

田子浦 わかった、もういいってば。

水俣 目くそ、鼻くそ、耳くそ、大ぐそ、小ぐそ、体から出たものはみいんな大地に返してやる。それが有機農法というものです。

田子浦 死体もね

水俣 むこうのナスが中沢さん、あっちのゴボウが有川さん、エンドウ豆が谷口さん ヒョロリと伸びたへちまが千葉さん、それから、こっちのラディッシュが藤波さん：残ったのは二人：私のときには、柿にしてね。桃栗3年柿8年、だれもが思わずもいで食べずにはいられない まっ赤な実をならせてみせる

田子浦 水俣さんたら、自分が先だつて決めてかかっているけど、顔色いいわよ

水俣 サングラスかけてて、何で顔色がわかるのよ

田子浦 つやつやしてるわ。どれ？(と触つて) 脂肪が浮いてる

水俣 今、汗かいたでしょ、穴掘つて。具合が悪いからアブラ汗が出るの

田子浦 昨晚、お夕食に何召し上がって？

水俣 ステーキよ。

田子浦 牛(うし)の肉、よくノドを通るわね。あんなものに毒よ

水俣 失礼ね。最高級品よ。1988年冷凍ものよ。毒、毒つて薬じゃなければ、みいんな毒じゃない。食べたいなら食べたいってはっきり言えば？

田子浦 いらないわよ

水俣 本当よ。食べきれなくて捨てたんだから

田子浦 捨てるものなんか欲しくないわ

水俣 いえ、捨てるものを上げるのではなくって…

田子浦 欲しくないの。そんなものバクバク食べてるんじや、あなたもまだまだよ

水俣 無理して食べてるんですよ。おいしいものをタラフク食べて、思いを残さずに死ぬんですよ。

田子浦 ムリして食べてるの

水俣 そうよ

田子浦 ムリしなくとも。もらってあげるわよ。

水俣 そう言ってくれれば

田子浦 まだあるの？

水俣 いいえ

田子浦 ……

水俣 缶詰なら…大和煮とコンビーフと…

田子浦 それ、政府からの配給でしょ

水俣 そうよ

田子浦 ……

ゆかりが、とりたての野菜を山ほど入れたカゴを手に戻ってくる

ゆかり お母さーん、朝ごはん！

田子浦 あっトマト…おいしそう！

水俣 まったく、食べる事だけは一人前なんだから

ゆかり ふん

田子浦 おどろいた。どうやったの水俣さん。大きさは程良いし、まるでふつうのトマトじゃない

水俣 これ、プチトマトよ。

田子浦 え？

水俣 はら、チェリートマトとかって売ってたでしょ。これくらいのやつ、あれよ。

田子浦 ふーん。

ゆかり (かごからネギとキャベツと玉ねぎと卵を出して)これがワケギ、これが芽キャベツ、これがラッキョウ、それでこれがスズメのたまご。

田子浦 成程ねえ

ゆかり (かごから食器を出して並べ始める、カップ、ソーサーなど、すべて4セットづつ並べている)

田子浦 ゆかりちゃん、一つ多いわよ

ゆかり 多くない！

田子浦 四日市さん、亡くなったのよ。

ゆかり 知ってる！

水俣 死んだ人はごはん食べないのよ

ゆかり わかってるってば、ゆかり子どもでないのよ

水俣 だったら一つ片付けなさい

ゆかり 川崎さんの分よ。ゆかりケーキが作ったの。川崎さんの食べたいって、この前。だから

田子浦 あら、そうだったの。ごめんね。私はてつきり

ゆかり ゆかりは、そんなに子どもの、で、ない！

水俣 田子浦さん、そろそろいいんじゃない？

田子浦 (時計をみて) そうね。ちよっとみてくるわ。

ゆかり どこ、行くの？

田子浦 お菓子の時間。

ゆかり おしっこの調べるのね

田子浦、去る

しばしの沈黙

水俣 ゆかり、バナナどうだった

ゆかり 黄色くなっていた。

水俣 そう。

ゆかり 手が届かないよ。地下の太陽さんより大きいよ。

水俣 あれ、地下の太陽さんじゃないの。

ゆかり 地下の太陽さんは地下の太陽さんじゃないの…

水俣 本とうは、原子力発電所って言うのよ。

ゆかり 本とうは…？じゃ、地下の太陽さんはウソなの？お母さん、どうしてウソついたの？

水俣 ウソじゃないんだけどね。他の人たちは地下の太陽さんって呼ばないのよ。

ゆかり 空の太陽さん、燃えているから明るくて熱い。地下の太陽さん、燃えていて熱いやっぱり地下の太陽さんよ。

水俣 だから、地下の太陽さんは、原子力発電所って名前なの。これが本とうの名前なの。地下の太陽さんは、あだ名なの。ゆかりはお母さんのことお母さんって呼ぶでしょ。でも田子浦さんは、お母さんのこと水俣さんって呼ぶでしょ。お母さんはひとりなのに、呼ばれ方っていっぱいあるでしょ。外に行つて、地下の太陽さんって言うと、ゆかりが笑われちゃうのよ。

ゆかり げんしりよく…？

水俣 発電所。

ゆかり げんしりよくはつでんしよって何？

水俣 発電所って言うのは電気を作るところという意味なの。今は、こわれていて、電気は作ってないんだけどね。

ゆかり じゃあ、はつでんしよ、してないじゃない。何で、はつでんしよって呼ぶの？地下の太陽さんの方があつてるのに。

水俣 じゃあ、勝手にしなさい。外で恥かくのは、ゆかりなんだから。

ゆかり …

水俣 原子力発電所って言うのよ。覚えちゃえばいいのよ。

ゆかり (お茶の支度をしながら) これ、お皿、これ、カップ、これスプーン…

水俣 そうそう

ゆかり (さっきの野菜で) これ、トマト、これ、キャベツ、これ、タマネギ、これ、ナガネギ…

水俣 うーん、ま、いいか。

ゆかり これ、ケーキ! あっ、ゆかり、川崎さん、迎えが行ってくる。(立ち上がる、思

いついたように) 地下の太陽さん、地獄の火が燃えてるって、あれ、本当? ウソ?

水俣 ……本当よ。

ゆかり よかった。ゆかり、明日、悪魔を呼ぶの。おまじないの、覚えたんだから。

エロエロエツサイムー エロエロ、エツサイムー

ゆかり、ケーキを抱えたまま去る

水俣 ゆかり…悪魔はね、人の心の中に住んでいるのよ…

田子浦が戻ってきた。片手にバケツ、片手に試験官。

田子浦 あー、スッキリした。3日ぶりよ。やっぱりアレね。毒掃丸(どくそうがん)は規則正しく飲まないとダメね。(と座る)

水俣 バケツの中身、空けてから座ってよ。

田子浦 あら、何? その言い方、大事な肥料ちゃんでしょ

水俣 人の出したものにまで寛大になれるほど、私、心広くないのよ。

田子浦 わかりました…どこにまこうか。

水俣 藤波さんにかけていて、

田子浦 えっと…?(迷っている)

水俣 二十日大根

田子浦 ああ、赤かぶね

水俣 ラディッシュよ。二十日大根でしょ

田子浦 どっちにしても桜島大根みたいになっちゃうわよ。(撒く)

水俣 (顔をしかめる)

田子浦 あっ、今、すごく嫌な顔しなかった?

水俣 しないわよ。

田子浦 したわよ、何、なのよ。

水俣 ちよっと臭かっただけよ。

田子浦 しかたないでしょ。

水俣 しかたないわよ。だけど そこらに穴掘ってすればいいのに

水なんかにないんだし

田子浦 だって、トイレでないと おちついてできないんだもの。

水俣 水のでない水洗トイレなんかトイレじゃないわよ。

役にも何にもたたないんだから

田子浦 だってえ、外じゃ落ちついて、できないんだもの。何度も挑戦したわよ。

だけど、ちょっと風でも吹こうものなら、ピュッとひっこんじゃうんだから
おかげでひどい便秘になっちゃったんじゃない。

水俣 ゆかりなんか、歩きながらでもしちゃうわよ。

田子浦 だって、ゆかりちゃんは子供だから

水俣 あ、そうか。

田子浦 何？

水俣 治さなくっちゃ、ゆかりの歩きシヨン。まずいわ。

：田子浦さん、トイレ作ろう。穴掘って、四方囲って、簡単なのでいいから

田子浦 どうして？

水俣 ゆかりにトイレの習慣付けなくっちゃ。

田子浦 いいけど：それ、汲み出して畑にまくのは水俣さんやってくれる？

水俣 肥たごって、バランスとるのが難しいのよね。ピチャピチャはねるし。

田子浦 やったことあるのオ？

水俣 小学校でね。宿題忘れると罰にトイレの汲み取りをさせられたの。

長柄しゃくでかき出して、ウジとか回虫とかうようよしてるのよ。

田子浦 いやだア

水俣 田舎だったから：

田子浦 暗い過去ね。

水俣 何、言ってるんの。私が田舎ものだからサバイバルできるんじゃない。

感謝してよ。それより どうだった？（と試験管を示す）

田子浦 ダメね。1ml当たりの精子の量が通常の30%ですもの。難しいわよ。

水俣 （試験管をのぞいて）そうよね。

田子浦 いいわね、水俣さん。5回目でしょ。

水俣 6回目。そろそろね。（腹をさする）

田子浦 私は3回しか：私はそろそろダメかなア。

水俣 何、言ってるのよ。夜明け前に刑務所のサイレン鳴ってたわよ。

田子浦 本と？気がつかなかった。

水俣 （紙をとりだすと）貼り紙しておきましょうよ。こっちも人数減っちゃって

見逃しちゃうかもしれないし（書きながら）「急募ー若くて元気な脱走犯ー

暖かいお食事と快適なベッド、官憲をあざむくファッショントクニックご指

導いたします。ー脱走援護会」。

田子浦 アルバイトニュースみたいね。委細面談乞連絡：あつ、連絡先は？

水俣 「ここにて待て！」これをその自動販売機に貼っておくのよ。

田子浦 そうそう、今までだって必ずといっていいほど、ここでジュース買おうとし

てたわよねえ。のどがかわくのは分かるけど、何で水道さがさないのかしらねえ。

水俣 さあねえ

田子浦、立ち上がって貼ろうとする

水俣 待って、川崎さん来るから。見られたらマズイわよ。あとで貼りましょ。

田子浦 でも その間に、彼、いっちゃうかもしれないわ。

水俣 彼？あつ、脱走の…。大丈夫でしょ。

田子浦 …

水俣 じゃ、目立たないように貼りましょ、ね、そっち側に

田子浦、言われた通りにする

田子浦 ゆかりちゃんは？

水俣 さあ…あつそうだ。川崎さんを迎えに行くって言ってたんだ。遅いわね。

田子浦 (注文書を出して) モルヒネ、余分にもらつところ。水俣さんも書き直した方がい
いわよ。四日市さんにあげちゃったでしょ。

水俣 そうねえ(とやはり注文書を出す)

田子浦 (水俣のをのぞいて) あら、まだヨウ素剤、とってるの？

水俣 えっ？

田子浦 もういいのよ、とつくよ。ヨウ素131は半減期が短いから3か月もすれば
心配ないって。

水俣 半減期…ねエ、何度説明してもらってもピンとこないのよ。2万4千年だっけ？
どうして分かるのよ。誰が2万4千年も生きてるの？2万4千年たてば、放射能
が半分になるから、放射能が治るって言うんでしょ。治る前に寿命がきちゃうわ
よねえ

田子浦 …そうじゃないんじゃない…?!

ねえ、川崎さん、遅いわね

水俣 来ないのかな。

田子浦 何でよ、来るわよ。

水俣 来ないって言ってないわ、かなって言ったのよ

田子浦 かなでも 来ないって…困るわよ。私モルヒネもうないんだから

水俣 知らないわよ

田子浦 ヒドイ!

水俣 川崎さんが来るか来ないか私は知らないって言ったのよ。来なかったら大変よ。

田子浦 こんなところにわざわざ来て商売する人なんて川崎さん以外に考えられないんだし
だったら来ないなんて言わないでよ。

水俣 来ないと困るって…言ったんじゃない。

川崎が来る

川崎 おはようございます。

田子浦・水俣 あっ川崎さん！！

川崎 えっ？

田子浦 いえ、何でもないんですけど

水俣 ゆかりに会いませんでした？

川崎 いえ。

水俣 あら、川崎さんを迎えに行っただですよ。

川崎 僕、今日は眠れなかったものですから、そこいらをグルリと散歩していたんですよ。金（カネ）くさい早朝の空気を胸いっぱい吸い込んで、あっ、そうだ、変な奴がウロついてますよ。気をつけた方がいい。ゆかりちゃん、大丈夫かなっ

水俣 脱走ですか…

川崎 ええ

田子浦 どんな男でした？若いの？強そう？いえ乱暴そうな奴でした？

川崎 いいえ、暗くてよくわかんなかったけど…弱そうな奴でしたよ。やせてて…若かったけど。手錠していたから大丈夫でしょう。

水俣 暗くてって？暗いうちからウロウロしてたんですか？川崎さん

川崎 眠れなかったんですよ。僕も、もう長くないなア。

水俣 暗い時分からウトウトして、今頃ですか？

川崎 でも、時間通りですよ。

水俣 もうセンからお待ちしていたんですよ。私たちこれといって忙しいことなんてないんですよ。早くきたなら早く声をかけてくださいよ。時間通りだなんて他人行儀なことおっしゃらないで。

川崎 そうですか…僕、苦手なんです。そうやって他人の中にうちとけていくって…

水俣 慣れてないんです。エイズですから…

水俣 だから、他人じゃあないって申し上げてるんですよ。

川崎 それはもつと難題だ。僕は、生まれてから他人じゃあない人間関係なんて知らないんです。

水俣 結婚なされば？

川崎 結婚?!そりゃあ、結婚には憧れていますよ、正直言って、でも、そりゃあ…

水俣 いないんですか？好きな方とか、おつきあいしてる方とか。

川崎 僕、エイズですよ。うつると死ぬんですよ。

水俣 しなきゃいいんですよ。

川崎 何で。セックスぬきの結婚なんて考えられない。そのための結婚でしょ。

水俣 じゃあ…結婚に憧れてるってセックスに憧れてるってこと？

川崎 はつきり言って、そうかもしれませぬ。セックスは究極の人間関係です。あの…え？

川崎 話題、かえませんか…こんなこと言ってるって四日市さんにおこられそうだ。

水俣 そうね、いれば…そうね。

川崎 え？

田子浦 お亡くなりになったんです。さつき埋めたところですよ。そこに。

川崎 え、ここ、ですか？そうか。ついに、お二人だけに…

水俣 ゆかりがいますわ。

川崎 四日市さんのご主人から、また預ってきたんですよ。例のーセキヅイ液。そうか、

死んだんですか。四日市さん、ガツカリするだろうなア。

田子浦 あの人たち、本とに愛しあってたわよね。

水俣 だましあいね。そうよ。愛している愛されている。そんな言葉を呪文のように

くり返して、二人の世界をつむぎだすのよ。幸せ、幸せって、さえずりながら

他のことは考えない おめでたーい思考回路に収束するの。ギマンだわ。

川崎 ギマン なんですか？

田子浦 それは、水俣さんのものの言い方ね。要は二人ともロマンチストで、結婚にロマン

を託していたと…そういうことでしょ。

水俣 どうせあたしはニヒリストですよ。ついでに亭主もね。僕は君の幸福を祈る、君は

僕の幸福を祈ってくれ、しかたがないだろういっしょにいられないんじゃ夫婦とは

いえない。僕の再婚を君にも祝ってほしい…冗談じゃないわよ。誰かと思ったら会

社の女(こ)よつ、最初(はな)っからできてたんじゃない。毎日毎日心の中では

私が早く死ねばいいって思ってたのよ。それが夫婦よ。あーだまされた、だまされ

た。私の青春を返せ。

田子浦 しいつ、ゆかりちゃんよ。

ゆかりがトボトボともどってくる。

川崎の姿をみとめて急に元気になって

ゆかり (興奮している)川崎さん！どこできたから。ゆかり、ケーキと作って、お迎えが

行ったので！

川崎 ？？ ああ、ごめんね

ゆかり ケーキが食べてね！

田子浦 あら、ケーキ、泥だらけ…

ゆかり ケーキが食べてね！

水俣 ケーキを食べてね、川崎さん。ゆかりが一生懸命作ったんだから

川崎 ええ…

水俣 ゆかりを傷つけないでね！

川崎 はい。あつ、そうだ、田子浦さん(と、かばんから手紙を出す)

水俣 何？(と、それを横取りして)田子浦正行様、妻、小夜…何なのこれ

田子浦 だから、手紙…ダンナに…。川崎さんに出して…たのんだの。

川崎 いや、僕、ヒマだから持ってたんですよ。

田子浦 いなかったの？

川崎 いや、いらないうって言うんですよ。用は電話で足りるからって
田子浦 封も切ってない…

川崎 電話したらいいんじゃないですか？

田子浦 電話じゃ、言えなかったのよ…だから

ゆかり 川崎さん、ケーキ！

川崎 うん…（ケーキとにらめっこになる）

水俣 田子浦さん、手紙はダメでしょ。原子力して放射能で汚染されてしまうから
そうでしょ

田子浦 わかってたけど、口に出して言えないでしょ。アレを送ってくれなんて。

水俣 四日市さんのがあるわよ

田子浦 えっ悪いわよ。もらえないわよ、そんな…

水俣 背に腹はかえられないってやつよ。川崎さん

川崎 えっいやア。このケーキ食わなきゃいけませんか？

いや、泥なんて気にしませんけどね、中にネギが入ってるんですよ。ホラ…
いやあ…ちよつとなア

水俣 それよりも、ほら、注文書。それから、四日市さんの、それ、お預かりするわ。

川崎 いや、これは…毎回真剣にたのまれてるんですよ。本人に、直接渡してくれって。

四日市さん顔をまっ赤にしたのむんですよ。

水俣 だから、四日市さんのお墓に、いっしょに埋めてあげるのよ。

川崎 そうか、それなら。

ゆかり 川崎さん。ケーキ、嫌いななの？

川崎 あ、あのね…

水俣 ゆかり、それよりもドライブしよう

ゆかり いやよ。

水俣 川崎さんもするって。

ゆかり 本と？

川崎 うん、するする…水俣さん、運転できるんですか？

水俣 できるんですかって？山形のオハナっていえばちよつとは有名だったんだから

田子浦 ドライブってより、暴走ね。

水俣 ロードレースと言ってちよつうだい。

川崎 暴走族？

水俣 ！！（エンジンをかけ、走り出す）

川崎 へえ？

ゆかり 行こう！（と川崎をひっぱって行く）

3人が去り田子浦が残る

田子浦 （小さな声で唄っている。）春よこい、早くこい…

うつらうつらと居眠りを始めた。

佐藤が全速力で駆け抜けていくが、自動販売機をみつけて立ちどまると買おうとする。が手錠のせいで、思いつきり四苦八苦してやっとの思いでコインを投入口に入れたが出ない。

佐藤 くそっ！（と機械を蹴とばす）

田子浦 （目を覚ます）

佐藤 （田子浦には気がつかない）

田子浦 それ、でてこないでしょ

佐藤 えっ？ ええ

田子浦 電気、きてないんですよ。発電所がこわれているんです。

佐藤 （ガックリ）

田子浦 何が飲みたいんですか？

佐藤 何でもいいんです。のどがカラカラで…

田子浦 （水の入ったポリタンクを渡す）どうぞ

佐藤 （夢中で飲む）

田子浦 脱走ですか

佐藤 そうですよ

田子浦 何をなさったの？

佐藤 ニセ札を作ったんです。

田子浦 まあ、見せていただけませんか

佐藤 没収されましたよ。当然でしょ

田子浦 残念だわ、私、コレクションしているんです。ご覧になりませんか？

佐藤 へえ…

田子浦 （スクラップ帳を出して）ほら、どうです？これなんかプレミア250倍ですよ

佐藤 ないなあ

田子浦 ありません？

佐藤 いやア、お見せできないのが残念ですね。僕のはこの中のどれよりもできがいい

と思いますね

田子浦 もしかして、スカシの中にマイクロサイズで「へのへのもへじ」が書いてあるという

佐藤 あ、ご存知でした？

田子浦 あなたなんですか、幻の名作って言われてるんですよ

佐藤 そうですか、光栄だなあ

田子浦 どんどん飲んで下さい。サインもらっちゃおうかな？ （とスクラップ帖をめくつ

ていたが） ちょっと待って、「へのへのもへじ」の犯人はまだつかまっていない

はず…

佐藤 そう、ニセ札犯は捕まっています。でも、僕は捕まった。

田子浦 …

佐藤 続き、ききませんか？

田子浦 続くんですか？また来週

佐藤 あの…

田子浦 光る光る東芝、回る回る東芝…

佐藤 僕、死刑囚です。凶悪犯ですよ。僕の話聞きなさい。

田子浦 何です、それ？

佐藤 おどしてるんですけど

田子浦 なるほど

佐藤 聞いて欲しいんですよ。ずっと独房で、ひとりつきりで…

田子浦 お気の毒に

佐藤 その一言が嬉しいなア、浸みてきますよ。ジーンと。久しぶりだなア。まともな話ができるのは…

田子浦 少し怖がった方がいいですか？

佐藤 そこまでは…とにかく僕はニセ札をつくり、その金で銃を買ったのです。但し、銃が欲しかったからニセ札をつくったわけではありません。これは、重要な点ですが。

田子浦 わかります。名ニセ札の製造コストは、大抵ニセ札の表示額を超えるものです。銃

が欲しいのならば、ニセ札を作るお金で買った方が早し、安上がりですもの。

佐藤 確かにその通りです。それから僕はその銃でパンダのテンテンを殺して食べた。

田子浦 覚えています。その事件、有名ですもの。

佐藤 光栄です。さらにこの点に注意して欲しいのですが、僕はパンダを殺すために銃を

買ったのではありません。ニセ札を作ったので、銃を買った。銃を買ったので、

パンダを殺した。但し、パンダを殺したのはパンダを食べるためです。

田子浦 ええ、とても納得がいきます。

佐藤 そうですか。裁判では、なかなか理解してもらえなかった。僕は、銃と、よく切れるナイフと固形燃料とプライパン、タッパウェアをもって動物園へ行ったのです。

それらをクーラーバックに詰めてね。

田子浦 その場で、いただいたんですね。

佐藤 ええ、新鮮なところをジュツと焼いて

田子浦 脂肪が多いような気がしますけど

佐藤 その通り。ライスもサラダもなしですから、キビシイものがありました。やはり動物園の動物は運動不足ですね。僕は、自分の奇をてらった企画のシマらない結末に腹をたてましたね

田子浦 事件としてはセンサーショナルでした。そう、たしかに、パフォーマンス性が強すぎる犯罪という評価に落ちていったところがあります。やっぱり、そこらへんが死刑判決の理由でしょうか

佐藤 パンダだけなら死刑にはならんでしょね。僕はその時、中国人を1人殺しました。

たまたま、来日していた中国の政府関係者でした。そいつが僕の銃と標的のパンダの間に割り込んできたのです。過失致死ですよ。中には、僕が、中国人の肉を食っていたって言う奴もいますが、とんでもない。人間なんか誰が食べます？まして、年をとった男だった。

田子浦 何故かしら、つまり彼はその直線上に立ち入らなければ決して死ななかつたわけですよ。自殺としか思えないわ。

佐藤 その通りです。あなたが裁判官だったらよかつたのに。

田子浦 裁判官？ムリですよ。

佐藤 いや、十分な頭脳をお持ちです

田子浦 そうかしらア 本とに、そう思いますう？

佐藤 さて、長居をしてみました。そろそろ逃げなくては。

田子浦 あの、もういつちゃうんですか？どこへ？

佐藤 僕は逃げなくちゃなんのんです。効率のよい逃げ方とはつまり絶えず居場所をかえて追いつかれないようにすることですから、さようなら。

田子浦 お電話、いただけませんか？

佐藤 行く先々から電話をして、居場所を明らかにしていたら、逃げている意味がないじゃありませんか。

田子浦 そんなにあわてなくても、安全なら良いんですよ。

佐藤 安全？それ、信じろって言うんですか

田子浦 え？

佐藤 僕は中国人を殺してパンダを喰った奴ですよ。こんな奴、信じられないでしょ。

田子浦 あの。

佐藤 だから 僕だって、誰も信じないんです。

田子浦 ちよつと、あの、私の話も…

佐藤 さようなら、水をありがとう

田子浦 あの、あの、

佐藤 何ですか、僕は佐藤公一です

田子浦 田子浦さよです

佐藤 …

田子浦 田子浦小夜！

佐藤 変な名前。(と去る)

田子浦 ちよつと、佐藤さん。佐藤さん(同じく去る)。

ゆかりが川崎をひびひびとちよつとくる

ゆかり 川崎さん、大丈夫？

川崎 う…ん(気分が悪い) ケーキ、くった方がマシだったな…きつと…

ゆかり ケーキ、食べる？

川崎 オエツ：いらぬ。ケーキはいらぬよ 気持ちが悪いんだから…
ゆかり ゆかり、ケーキが食べよう。
川崎 お水、もらえないかな
ゆかり (ポリタンクをみて) 空っぽ。(試験管をみつけた) あ、これだけ、でも、ある。
川崎 ありがとう (と飲む)
ゆかり 川崎さん、大丈夫？
川崎 うん、大丈夫。ゆかりちゃん、優しいな。いくつになっただけ
ゆかり 一応、3つ。でも突然変移だから
川崎 本とに、どうみても、食べごろだよ。
ゆかり えっ？
川崎 いや…
ゆかり 川崎さん、ケーキ、食べる？ (と、自分はもうほおばっている)
川崎 いや、いらぬよ、僕は、おナカいっぱいだから。
ゆかり …そう、お腹はいっぱいかもしれないが、心は飢えている、僕は、愛が欲しい
ゆかり アイ？
川崎 きいてたの？ひとりごとだよ。
ゆかり アイって、愛？
川崎 そう、その漢字の方、ノツワ心がのびてくにぼう。
ゆかり 愛では ゆかりも懂れるの。
川崎 にはでしょ。そうなの？
ゆかり 本に読んだわ。ゆかり、「てにをは」、おかしいけど本で読めるのよ。
川崎 ゆかりちゃんは、お母さんたちに愛されているよ。
ゆかり その愛はないでしょ。男と女で愛よ。恋愛。
川崎 恋愛か
ゆかり でも残念ね
川崎 なにが
ゆかり ゆかりも愛が欲しいの：「てにをは」あつてる？
川崎 あつてる。あつてる。
ゆかり 川崎さんも欲しい、ゆかりも欲しい。あげる人でないからダメね。
川崎 そうか、そうなるね。
ゆかり 川崎さん、愛ってどんなものと思うの
川崎 ゆかりちゃんは？
ゆかり あのね、家庭がメチャクチャになったり、金持ちの老人を殺して、二人が裕福
になつたり、ふられた腹イセにピストルぶっぱなしたり、「今夜この月を…」
なんて見栄きつたりするのよ。
川崎 水俣さん、どういう教育してんだ？
ゆかり えっ、違うかな？
川崎 僕もよくわかんないんだ。愛ってきつと、愛とはコレコレのものですつて言える

もんじゃないんだよ。なんか、そういうことがあってサ、で、他の言葉じゃ説明がつかなくなって、ああ、これが、愛というものか！って感じなのじゃないかな

ゆかり 川崎さんは、知ってるの？

川崎 うん。

ゆかり 教えて

川崎 ゆかりちゃんにはわからないよ

ゆかり そうかな

川崎 何万何億のラブストーリーがつくられようとも、つまるところやることはひとつだ。

僕には、残された時間が少ないから、よけいなプロセスはぬきにしてセックスについて研究した。資料には困らなかった。とくに、6分間に1本の割で大量清算されているアダルトビデオは有効だった。モザイクをかける前のやつも手に入った。そして、ある日気がついたんだ。いわゆるいいようなない感情のたかぶりにホンロウされている自分に。これが愛だ。

ゆかり みつけたのね

川崎 セックスなら愛せそうです。

ゆかり セックス？

川崎 そうだ、セックスだ。したいなあ。

ゆかり するものなの？

川崎 うん。したいなあ。

ゆかり じゃあ、すればいいのに。

川崎 ひとりじゃできないんだよ。ゆかりちゃん。セックス知らないの？本とは知っててからかってるんじゃないの？

ゆかり 知らない。教えて。

川崎 教えてあげたい。教えてあげたいけど、いいのかなあ…

ゆかり 君はまだ本当は3つなんだ。そう思うと恐ろしいなあ、君に欲情している自分が。

ゆかり 教えて、教えて。

川崎 うーん（と立ったものをおさえて）

ゆかり ねえ

川崎 僕には、できない。何も知らない人間を犯すなんてことは…しかし、しかしだ。説明してやればいいんじゃないか。納得づくで行為に至れば…そう、ゆかりちゃんなら特異体質だから、エイズにもうち勝つかももしれないし（とさんざんひとり言を言ったあとで）つまり、セックスとは基本的に子供を作ることです。

ゆかり ふうん

川崎 …やっぱりやめた。僕のエイズとゆかりちゃんの放射能…もし、万が一、子どもができたら、何かそら恐ろしいことになりそうだ。やめた、やめた。

ゆかり 子供は、ひとりでつくれるじゃない。

川崎 子供は、セックスしてつくるんだよ。セックスはひとりじゃできないんだ。

ゆかり 川崎さんはそうかもしれないけど、お母さんはひとりでつくってるもの

川崎 いや、今はここに居ないけど、本とうはお父さんがいたんだよ

ゆかり それはジコの前の話でしょ

川崎 え？

ゆかり 今でも、お母さんたち、子供作ってるよ、みーんな死んじゃうけど。

川崎 作るって？どうして？どうやって？

ゆかり 種をまくんじゃない。きまつてるよ。

(さっきの四日市の荷物ⅡクーラーバックⅡを出して)これが四日市さんの種。

川崎 四日市さんの？

ゆかり 四日市さんの…そう、のでいいの。四日市さんの種。

川崎 お母さんは？

ゆかり お母さんは、種を集めるのよ。あっ?!田子浦さんだ。誰かいつしよ。

川崎 さっきの脱走犯だ。ゆかりちゃん隠れよう。

川崎、ゆかりをひっぱって2人隠れる。

田子浦と佐藤がシリトリをしながらやってくる

田子浦 サーカス

佐藤 スシ

田子浦 シカ

佐藤 カレー

田子浦 エーゴ

佐藤 え？

田子浦 エーゴ、英語

佐藤 カレーですよ“レ”でしょ。

田子浦 カレーでしょ、エでしょ

佐藤 カレーでしょ。レがのびるんですよ

田子浦 のびるからにはじまることばなんてないですよ。

佐藤 だから レ だつてば

田子浦 そうかなア

佐藤 じゃ、わかりましたカレーライス

田子浦 ス、スシ

佐藤 スシって俺が言ったばかりじゃない

田子浦 そうでしたっけ

佐藤 そうですよ。

田子浦 スイカ

佐藤 カ、またかつ

田子浦 またか？

佐藤 違いますよ。カニタマ。あー腹減ったな。

田子浦 また…

佐藤 たまごどんぶり

田子浦 食べモノばかり

佐藤 りんご

田子浦 ごちそう様

佐藤 まんじゅう、僕、甘いモンは苦手です

田子浦 うまいもの、ならいいでしょ

佐藤 のりまき、キムチ、チンジャオロースー

田子浦 スですか、ウですか？

佐藤 さあ、僕、中国語はわかりません

田子浦 そうですね。わかればきつと殺さずに済みましたよね。

佐藤 チマキ

田子浦 キンタマ

佐藤 え？

田子浦 キンタマ。

佐藤 それ、どういうものか知ってるでしょ。よく平気で口にできますね。

田子浦 キンタマ…いけません。

佐藤 いや…マ…か…○ンタマといわれて、マがくれば、やはり…

田子浦 チ・チ・チ（と時計の口まね）

佐藤 松葉杖

田子浦 あら、マツバツエ、ですか

佐藤 いけませんか、さあ、エ、ですよ

田子浦 あなた、トラウマありません？

佐藤 トラウマ？持ってませんよ。エですよ。

田子浦 心のキズですよ。

佐藤 エッ？（注・感嘆詞）

田子浦 エロス

佐藤 心の傷ってどういうイミですか？スルメ・

田子浦 メ？難しいな。メザシ…はさつき出たし、メンコも言ったし、メンコ…

どうだったかしら、メンコ？マンコでしたっけ。

佐藤 あのね。

田子浦 メカニズム

佐藤 それ、モノの名前じゃありませんよ。

田子浦 そうですか、じゃあなんですか？

佐藤 つまり…英語ですよ

田子浦 英語なんですか、じゃ、メリヤス

佐藤 メリヤスって何ですか？

田子浦 編みものですよ。

佐藤 よかった、また英語かと思った。カタカナで言うんだもの

田子浦 じゃあ、めりやす

佐藤 ス、またスですか…編みものか

田子浦 私って、家庭的な方でしたの。

佐藤 でした？

田子浦 ええ、今でも…的(てき)なんですけど 家庭の方がありませんよ

佐藤 離婚したんですか

田子浦 いえ…あの、そうですね。死んじゃったんですよ、ようなものです

佐藤 あの、もしかして、その、未亡人のほけ口に困った欲望を僕で満たしてやろうなんて考えてないでしょうね。

田子浦 何ですって

佐藤 スジコ

田子浦 スジコは言っても、マンコは言えないんですか、

佐藤 スジコ、タラコ、カズノコ、メンタイコ、と○ンコは違うでしょ

田子浦 似たようなものよ。コイ

佐藤 恋？

田子浦 いいえ、鯉

佐藤 ああ、何か、身の危険を感じるな。イクラ。

田子浦 ねえ、

佐藤 はい。

田子浦 さつきから、私たち以外の人間をみかけまして？

佐藤 いいえ、そういえば、全然

田子浦 だから、安全だつて申し上げたんですよ

佐藤 僕は、そのことが、むしろ危険に思えてきた。

田子浦 あははは、(と突然、笑う)

佐藤 あつ、はははは(何だかわからないがとりあえず)

田子浦 ラなんてあります？

佐藤 ラーメン

田子浦 ブー、「ン」はダメです

佐藤 「ン」で始まる言葉があればいいでしょ「ンタマ」「ンポコ」「ンコ」…

田子浦 あなた、そう言うんですか？「ンコ」

佐藤 そうですよ。いけませんか。これが精一杯です。辞書にものっていますよ。

田子浦 やっぱり、心に傷があるでしょう。

隠れていたゆかりは、さつきから遊びに加わりたくてジリジリしていたがついに。

ゆかり ラジオ！

川崎 おい。

ゆかり おい？おいはだめだよね。

田子浦 ゆかりちゃん。

佐藤 オ… オナニー！

田子浦

(三人) ナニー？

川崎

「ニー」が世界中にこだまする

唐突に“花笠音頭”だー！

水俣が華麗に舞うのだー！

水俣 さあ、皆さん、ごいっしょに！！

川崎 何の真似ですか？水俣さん！

水俣 あなたじゃないんです。川崎さん。(貼り紙をビツとはがして、佐藤の面前へつきつけるように) ようこそここへ、クッククックク…。

ゆかり 遊ぼうよパラダイス

水俣 私の青い鳥！

○○○○○○○○○○(続きを唄う)

ゆかり

???

水俣 いまのおたけび、しかとこの耳でききました。オナニー！そうです。わかっていただければ話は早い。ティッシュにつつんで、人目を忍ぶその10ccを、このフラスコに、分けて下さい。

佐藤 はあ？

川崎 (貼り紙を読む) 急募：若くて元気な脱走犯、暖かいお食事と快適なベッド、官憲をあざむくファッションテクニクご指導いたします。脱走援護会？なんの冗談ですか？

水俣 冗談で、花笠音頭はおどれません。

佐藤 食事：冗談：

田子浦 ブー、ンはダメです。

佐藤 ンで始まる言葉があればいいんですよ。「ンンタマ」「ンンポコ」「ンンコ」

田子浦 それ、さつきやりましたけど。

佐藤 そうだ。田子浦小夜。その前に何ンか言ったる。安全…？誰もいない？

水俣 (再度、貼り紙を示し) その通り。何せ、脱走援護会です。私たちはあなたの味方です。

佐藤 貼り紙を示して 私たちはあなたの味方ですって、選挙の時の政治家と同じ手口でしょ。そんなの信じろって言うんですか。庶民の味方って言いながら、税

金高いことふっかけて、潜水艦買って：知ってますか？潜水艦の中でへをこく
とものすごく臭いんですよ！

水俣 おちついて下さい。では、取り引きをしましょう。

あなたは、今、空腹ではありませんか？

佐藤 ペコペコですよ。

水俣 疲れてませんか？

佐藤 ヘトヘトです。

水俣 脱走するためには、その服じゃ、まずいでしょ。

佐藤 ……

ゆかり ポロポロですよ。

水俣 食事、ベッド、着替え。私はそれらを提供しようと言ってるんです。その代り、

佐藤 その代り？

水俣 10cc

田子浦 あのね、それよりも

ゆかり 種

川崎 種？種って、子種？精子のことなの？

ゆかり そうなの？セイシ？

川崎 ゆかりちゃん、お母さん、子供、作るって…

佐藤 僕、童貞なんです…

川崎 冗談じゃない。水俣さん、子供なんか作って、どうするんです。ゆかりちゃん
みたいな、いや、ゆかりちゃんはまだいいけど、どんな異常な子が生まれるか
わかったもんじゃない。

僕は、僕はエイズだ、生まれた時から、それがどんなに苦しいことか。つらい
ことか。僕は、セブナイレブンに入ったこともないんだ！

ゆかり セブナイレブン…

佐藤 ふ、ふたりして、僕を犯そうって言うんですか？

やめて！

水俣 ものわがりの悪い人ね。このフラスコに入れてちようだといって言ってるのに。

川崎 水俣さん！

佐藤 僕は、童貞だ。自分でも偉いと思う。数々の誘惑から守り続けてきた。町を
歩けば、女、電車にのれば、女、本を開いてもテレビをつけても女、女、女…
目をつぶったって夢の中まで出てくるんだよ。これ見よがしに、露出した女た
ちが、僕は可哀そうだ。僕はひとりしかないのに女は大勢でおそってくる。

水俣 (田子浦に) どういう人なの？

田子浦 きつと純情なのよ。

佐藤 そう、男の純情です。

水俣 その純情にもおマケがつくでしょ、やっぱり処理しないと、たまるでしょ。

田子浦 よして、水俣さん。

水俣 何よ、あなたの為にガンバツて、花笠音頭まで踊ったのよ。

田子浦 彼は、純情を貫き通すために、犯罪までおかしているの。ニセ札づくり、あれは緻密な作業です。芸術への欲求は、性欲が司るといいます。彼は過剰な性欲をニセ札づくりという芸術に高め、パンダを食べるといふパフォーマンスまでやってのけたのです。

ステキ！

佐藤 過剰な…ですか？

田子浦 ステキ！ 毎晩5本も6本もエロビデオをみながら5回も6回もマスをかいているやつにはマネのできないことです。ストイズムこそ真の芸術を生むのです。

佐藤 ニセ札が芸術ですか？

田子浦 ええ、もちろん。

佐藤 ニセ札はニセ札ですよ。芸術なんかじゃない。金、金って、金を神様みたいに思っている連中をだまして、あざ笑ってやりたかっただけだ。ニセ札は紙くずでなければいけない。芸術なんかになったら、ニセ札の意味がないじゃないか。そう、そのアナーキズム。それが芸術…いえ、何でも良いわ。ステキ、ステキよ。佐藤さん。愛してるわ。

佐藤 ワ、ワレモコウ。知っていますか？ワレモコウって「我れの毛が香る」と書くんです。イヤラシイ花じゃありませんか。母が教えてくれたんです。この花がワレモコウよって。でも、それ、ワレモオコウじゃなかった。母は間違っていたんです。ワレモコウじゃなくて、オミナエシだった。知ってますか？オミナエシ、「女郎草（ジヨロウグサ）」と書くんです。母さんにびったりだ。母さん、母さんは、僕を捨てて、男と消えた。金に目がくらんだんだ。父さんは貧乏な牛乳屋だったけど、その男はサラリーマンだった。

ゆかり 愛。それって愛よね。ねっ川崎さん。

川崎 うん。

水俣 うんって？どういう意味？

川崎 いや、僕にも、よくわからないんですけどね。

田子浦 佐藤さん。回想にひたつてないで現実をみて下さい。あなたは死刑囚よ。脱走してきたの。それで、ここに在る限りは、つかまらない。安全なのです。ここで、私といっしょに暮らしましょう。

佐藤 安全…

川崎 安全じゃないでしょう。ここは危険区域ですよ。

佐藤 安全なんて、いらぬ。僕は犯罪者だ。法をおかしたから、追われている、追われて、逃げる、どこまでも。追われることで僕は僕の実存を感じ、逃げることでアイデンティティは確立される。僕は、悪だ。僕の存在そのものが犯罪だ。

ゆかり どこへ行くんですか？

佐藤 逃げるんだ。逃げるのに目的はない。

そこに在るのは、逃げると言う行為だけだ。

ゆかり セブンイレブン、行きますか？

佐藤 セブンイレブン…確かに途中で腹が減れば、寄るかもしれません。(去る)

ゆかり ゆかりもついていきます。

川崎

水俣 (三人)？

田子浦

ゆかり

お母さん、さようなら。ゆかりは愛に生きます。セブンイレブン、そう聞いた瞬間に、いわくいいいようなない感情のたかぶりがビビッと足のつま先から頭をつま先にまで走ったの。これは愛ね。ね、川崎さん。

川崎

ゆかりちゃん、セブンイレブンっていうのは、その、お店の名前なんだよ。

ゆかり

名前。わかっています。ゆかりは原子力発電所からセブンイレブンへと旅立つのです。川崎さん、ありがとうございます。そしてお母さん、ふつつかものですが、どうもありがとうございます。ゆかりは大人になります。

佐藤の後を追って、ゆかりも立ち去る

川崎

ゆかりちゃん…

田子浦

佐藤さん…

川崎

あれっ？ここまで来てたんだよ、愛が。ちょっと手を伸ばせば、届くところに、あったんだよ、愛が…どうして…？ ゆかりちゃん…

田子浦

…佐藤さん…

水俣

田子浦さん…

田子浦

水俣さん… ゆかりちゃんが…

水俣

ええ…行ってしまったわね…

川崎

どうして、とめなかつたんです

田子浦

(二人) どうして…

水俣

どうして？

水俣

止められて？ここにセブンイレブンなんかはないのよ。

川崎

セブンイレブン、作ればいいじゃない。

水俣

それで？

川崎

それで？

水俣

ファミリーマートは？ローソン、スカイラーク、ロイヤルホスト、マクドナルドのドライブスルー、サーティワンじゃ飽き足らなくて、ハーゲンダッツにイタリアンジェラート、…

川崎

ドライブスルーがどうしたって言うんです。

水俣

いくら子供を思っても母親の限界なの、ゆかりは3つだけど、特殊だから、もう大人になって、外の世界へ出て行くことを選んだのよ。そりゃ、選択も特殊だったけ

ど。

川崎 ドライブスルーも作っちゃうよ。僕は愛が欲しい。ゆかりちゃんでもよかったんだ。ゆかりちゃん：僕はあきらめませんよ、水俣さん。連れ戻して、しばらくつけてでもわかってもらいたいんだ。僕は、ゆかりちゃんを愛している。

水俣 わたしだって、気持ちは同じよ、川崎さん。こんな風にとびだして行くなんて…もっと母親として、その何ていうか、準備をしてやりたかった。せめて、トイレの習慣だけでもつけてやりたかった。

川崎 追いかけてみましょう、水俣さん。

水俣 …（ちゅうちょしている）

川崎 どうしたんです？水俣さん、さあ、母の愛です。走りましょう。

水俣 母の愛…？愛かしら、川崎さん、ただのエゴイズムではないかしら。

田子浦 そうよ、エゴイズムよ

川崎 田子浦さん。愛は愛ですよ。基本的にはエゴイズムだろうがセックスだろうが、愛は愛ですよ。

田子浦 愛なんて 口にする資格、私達にはないのよ。

川崎 母の愛ですって、笑っちゃうわよ。

川崎 …？

田子浦 川崎さん、どうして女たちだけがここに生き残ってきたと思う？

川崎 …

田子浦 子どもを食らって、命をつないできたのよ。

川崎 あ…ゆかりちゃんが言ってた、あの水俣さんたちは今でも子どもを作っているって、あの、えー！？（バッタリ、倒れる）

田子浦

水俣 （二人）川崎さん！

水俣 事故で私たちは放射能のシャワーを浴びた。放射能は一度体に入ってしまうとでていかないし、なくならない。

川崎 エイズも同じだ。エイズはそのうえ増えるんだ。

水俣 放射能はガンをおこして。ガンは増えるわ。あとは死ぬだけ。

川崎 あとは、死ぬだけ

水俣 死にたくなかった

川崎 僕だって。

(M) i n

水俣 事故のとき、私たちのお腹には子どもがいたわ。スクスクマタニスイミング。

女たちは、まるで、ジュゴンのようで…

SE 警報

事故を知って私たちは逃げたわ、お腹の子どもを気づかいながら、どこまで行けば安全なのか、どこまで行けば…

でも、待っていたのは「産んではならない！」だから、子どもを産みたい一心で私たちは戻ってきたの、ここへ。

子どもたちは、死んでしまったけれど私たちは生きている。

田子浦 子どもを生むのよ、川崎さん

放射能は、子どもといっしょに外へ出るのよ。死んだ子といっしょに。そうやって私たちは、生きのびてきたのよ。

川崎

： 死ぬとわかってる子を生むことが、母の愛なの、水俣さん？

水俣

母の愛が殺したのよ。生めよ、ふやせよ、地に満ちよ。自然は生きとし生けるものを祝福し、未来永劫、果てることない生命をと、母から子へ、母から子へ、命の種がまかれて…それが母の愛でしょ。いったい誰なの？命の種に放射能なんかまぜたのは？

私じゃないわ。

川崎

僕のエイズも、母の愛か、

水俣

愛がマヌケなのよ。くやしい…

川崎

マヌケだけど、一生懸命だ…さようなら…（死ぬ）

水俣

田子浦 （二人）川崎さん！

暗転

あの世。背中に無数の水子の魂を背負った川崎が。

（水子の魂は、セブンイレブンのレジ袋に風船を入れてつくるー）

川崎

死んだ。死んだなア。水俣さん、僕だって方法があれば生きたかった。

おっとあばれるな、おっこちるぞ子どもたち。

SE 赤ん坊の泣き声

四日市

タマ、タマ…（といいながら出てくる）

川崎

あ、四日市さん。何です、タマって？

四日市

あら、川崎さん、猫かと思っただわ。猫はタマでしょ。

川崎 ミケかもしれせんよ。

四日市 じゃあ、ミケ、ミケ…

川崎 川崎ですよ。

四日市 そうだったわね。ここ暗いもんだから。私、めがね忘れてきちゃって。

川崎 え、めがね…ということは、俺のエイズも治ってないのかな、え、またエイズで死ぬの？

四日市 (突然大声で笑いだす)

川崎 どうしたんです？

四日市 今ね、今ね、面白いこと思いついちゃったの。

ね、ね、聞いて。川崎さんだったら、タマってよりキンタマよねってね、面白いでしょ。

川崎 (しばし呆気にとられているが) 四日市さん、こんなところで何やってるんですか？天国はまだ先でしょ。

四日市 そう、そうよね、天国がこんなに暗いわけないわ

川崎 僕、死んだばっかですよ。

四日市 川崎さん！

川崎 はっ？

四日市 天国なんてあるの？

さあ？でも、さつき、立て札出てましたよ。

川崎 『死ねばみイーんなハタチ、天国まで5km』

四日市 あれ、冗談でしょ？

川崎 そうですか？でも、達筆で、説得力あったなア。

四日市 あたし、死にたくないんです。

川崎 はっ？

四日市 あたし死にたくなかったって言ったんです。

川崎 そりゃ、誰だって…でも死んじやったんですから

四日市 あたし、死んだんじやありません！

川崎 え？

四日市 殺されたのよ。

川崎 誰に…

四日市 そう、誰なんですか。放射能…って

川崎 あ…

四日市 死ぬとわかってたら、私、電子レンジも、食器乾燥機も、いえ、洗濯機や冷蔵庫だって我慢しました。クーラーだ、ヒーターだって、なくなっちゃって平気でした。便利だ。便利だって、ありがたがってたら、その代償は命だったのね。便利って、利口な生き方のように思っていたら、愚かな死に方だったのよね。あー悔しい。死んでも死にきれないって、このことよね。川崎さん。

川崎 はア、ごもつともで…

四日市 電話がないんです。

川崎 え？

四日市 ちょっとね、アレですよ。言っちゃりたかったのね。このことを。でも、電話がないものですか？

川崎 電話ですか？

四日市 ええ、

川崎 水俣さんに持つてくるようにたのみましようか。

四日市 どうやって？

川崎 あっ！そうですよね、あははは…

四日市 でしょう！ははは…

笑い声が虚空にこだまする

川崎 僕は忘れません、何もかも。どうして、僕たちが、あなたたちが死ななくちゃなら

なかったかってことも。(SE 赤ん坊の泣き声) ニャーオ、ニャーオ。そう、生まれかわる時、僕は猫になろう。何の役にも立たず一日中ごろごろしている。そして、時々、薄目をあけて、世の中を盗み見る。ニャーオ。

そう僕は、猫の目に、賢者の知恵の光をみとめて、畏怖したものだった。何もかもお見通しして目だ。その目だけでいい。その目でわがままな人間どもをにらみつけてやるんだ。

ニャーオ。

(M) i n

T H E E N D !

世仁下乃一座 下剋上演

『チクロ育ち』

（遠くに居れば安全ってことはありません。）

1988年9月17日(土)18日(日)

午後2時／午後7時

場所 池袋パモス青芸館

料金 1800円(自由席)

学割 1500円(前売りのみ)

作／演出 下川志乃ぶ

水俣はな子 すぎきようこ

水俣紫(ゆかり) 宮本羊美

田子浦小夜 鈴木薫

四日市愛子 二村説子

川崎英次 木下伊知郎

佐藤公一 平林広宣

照明 須賀○子

音楽 曲尾友克